

出迎え三步、見送り七歩

人との出会いには、「期待」と「緊張」がある。まして、初対面の人とはなおさらである。この期待と緊張に快く答える術があいさつであり、それは温かな「受け入れる心」の表れである。これにより、心を開き、本題へと進む道筋が開ける。そして、相手を迎え話を進めるには、相手を敬愛し、たがいに感謝する気持ちを具体的に示すことが大切である。東京オリンピック・パラリンピックの招致活動では、「おもてなし」が好評を得た。「相手を思いやり、もてなす心」に込められた、適度な距離と美しさをもった礼儀が、日本では大切にされ今日も続いているのである。

〈参考情報〉海外からの観光客などに珍しがられる日本の「おもてなし」文化の一つとして、「おしぼり」がある。おしぼりの発祥時期は定かではないが（室町時代から、江戸時代など諸説あり）、旅人が汚れた手足を洗えるようにと宿で水をはった桶と手ぬぐいを用意し、その手ぬぐいを水に浸して絞ったことから「おしぼり」という名前になったといわれている。おしぼりは、宿の人が旅人に「疲れた体を癒し、気持ちよく泊ってほしい。」という「おもてなしの心」から生まれたものなのであろう。現在では、飲食店でリユースのおしぼりが、コンビニエンスストアなどでは紙のおしぼりが普及している。

夏の冷たいおしぼりや、冬の温かいおしぼりには、今でもその「おもてなしの心」が残されているのではないだろうか。

1組 ○○○○

相手にとってこの行動でどう思うのかを考えて、相手により良く過ごしてもらえるように行動すること。

日頃からありがとうございますなどの挨拶など、相手が気持ち良く過ごせるような行動をできるように心がけていきたい。

2組 ○○○○

普段の生活に活かしていくには日常的に相手のことを考えて少しの気遣いでもいいから試してみることが大切だと思います。

無意識に相手が心地よく過ごせるような気遣いができる人になりたいです。

3組 ○○○○

相手の気持ちを考えたうえで、優しく接したり、迷惑をかけないように気をつける。

4組 ○○○○

- ・相手への思いやりを言動や行動に表すこと
- ・何があっても思いやりを持って接する
- ・相手が快適に話し合えるように工夫する
- ・相手に敬意を持って接する
- ・遅刻してきてもその事に関して口出しせずに話し合いたい事に集中すること

5組 ○○○○

「もてなす」というのは相手のことを思って行動したり、相手が良い気持ちになったりすることだと思うので、自分が「面倒くさい」や「誰かに言われてやった」などの気持ちでやるのは違うのではないかと思います。せっかくもてなすならば、自分も良い気持ちで行動できたらいいなと思いました。

6組 ○○○○

「もてなす」とは、相手の人が楽しかった、また来たいと思ってもらえることを提供することだと思います。だから「出迎え三步、見送り七歩」があるのだと思います。

7組 ○○○○

- ・どんな人でも同じように礼儀を大切にすることだと思います。
- ・表に出過ぎない控えめなもの。
- ・これからは、目配り、気配り、心配りを大切にしていきたい。
- ・思いやりのある行動を常に意識して過ごす。

毎学ノート終了 継続は力なり

~5月10日
 2冊目…①○○○○○
 1冊目…④○○○○○ ⑥○○○○○

